

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 菅

会議名: 第4回守山学区まるごと活性化プランBプロジェクト会議

日時: 平成28年9月7日(水)午後7時30分～

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 田中代表、杉本副代表、中野、伴野、磯、今井、竹中、中島、奥村、川端

出席者(行政): 地域振興・交通政策課 高山係長、守山会館 田中館長、菅主事

使用資料: ロードマップ(構図)、2017年カレンダー(案)、今宿一里塚探検隊事業内容、京だち守山泊りについて

議題

- (1) ロードマップについて
- (2) 「2017年もりやま今昔のカレンダー」について
- (3) 中山道守山宿歴史文化保存会創立30周年記念事業
「歴史探訪ウォーク『京だち守山泊まり』の実施について」

会議要旨

内容

(1) ロードマップについて

大きさ: A2サイズ

掲載範囲: 守山市に入ったところから野洲川越えた辺りまで。
街並みに加え、街の風情や人々の様子も描く。

活用方法: 守山市民だけではなく観光客も視野に入れる。

印刷レイアウト・折り方: 未定

構図: 今回の会議でプランⅠとプランⅡについて検討。

プランⅠ(全体図のうち、宿場区間のみ引き延ばして拡大し、遠近感のある構図)

プランⅡ(等角投影図で、別枠に宿場区間の拡大図を補足した構図)

プランⅠについて

メリット……遠近法が使われていて面白みがある、1画面で見やすい

デメリット…距離感が実際と異なる、載せたい史跡が小さくなってしま(特に距離が離れているもの)、片側の建物の並びは裏から見る形になってしまう

プランⅡについて

メリット……等角なのでマップを見ながら歩きやすい、距離感がつかみやすい、広範囲で分かりやすい、観光客に向いている、別枠の2画面があれば、裏面に史跡の写真と番号を振って説明を付けられる

デメリット…別枠で補足図を描くので2画面になる、下之郷遺跡(吉身)が載せにくい

⇒ 検討結果

- ・「マップ」ということもあり、ある程度の正確さは必要。
- ・構図Ⅱ(等角)を中心に、一部を拡大・遠近感を付けるなど、構図Ⅰの要素を加えていく。
- ・2画面で拡大図をつけてる。今後進捗状況を報告しながら進める。

(裏面に続く)

決定事項

ロードマップ…構図Ⅱ(等角)を中心に、構図Ⅰ(遠近・一部拡大)の要素を加えて作成する。

カレンダー…今回出た意見を集約し、修正版について次回の会議で協議。

次回会議について…平成28年10月18日(火)午後7時30分から

次回以降について

マップの進捗があれば報告。

カレンダーについて引き続き協議。

会議要旨

内容

(2) 「2017年もりやま今昔のカレンダー」について

○現在のカレンダーのレイアウト

1月2月：一里塚

3月4月：どばし

5月6月：本町、もりやまいち

7月8月：守山駅、駅前通り

9月10月：ほたる通りと中山道交差点、吉身商店街

11月12月：馬路石邊神社、豊年踊り

【意見】

- ・表紙のタイトル部分の文字について、柔らかいイメージの行書体はどうか？
- ・メインを中山道とし、周辺を含めて中山道を辿っていく形はどうか。
- ・カレンダー自体が季節と関係するものなので、季節感で写真を並べてはどうか。
例えば、豊年踊りは5、6月、もりやまいちは12月。
- ・写真の使用可否について、提供元を事務局で確認中。使用不可の場合、守山市誌の写真を使用するので、写真は多少変更になる可能性あり。
- ・昨年同様、1ページずつに地図をつけるかどうか。写真のスペースが狭くなってしまうので、別添か、最終ページに地図のみのページを作ってはどうか。
- ・全く同じ場所を比較しなくても、「まちなみ」として比較すれば写真の選択幅が広がるのでは。
- ・一里塚前に一里塚探検隊ののぼり旗が立っている様子を載せられれば、一番最近の「現在」の写真として比較できて良い。
- ・吉身商店街のバスの写真について、「祭守山町天然記念物源氏蛸」と「竹房」という看板は是非載せたい。
- ・吉身学区の希望としては、豊年踊りを載せること。
- ・日の数字をもう少し大きくしてほしい。
⇒事務局で意見を集約し、カレンダー案修正する。次回修正版について協議。

(3) 中山道守山宿歴史文化保存会創立30周年記念事業

「歴史探訪ウォーク『京だち守山泊まり』の実施について」

京都三条から守山までの34kmを3日に分けて歩き、街道の歴史文化にふれる。

守山学区・吉身学区まるごと活性化プラン推進委員会協賛。